

プログラム名 (40字以内)	東日本大震災後「還暦以上は口を出さず」から始まったまちづくりと 新たな一歩を踏み出すプレーヤーから学ぶ5日間		
団体名/所属	特定非営利活動法人アスヘノキボウ		
活動区分	就労体験活動	希望する選考方法	自動抽選(事務局で公平に抽選して決定します)
募集人数	4人程度	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2026/9/7(月)13時集合～ 9/11(金)13時解散(5日間)	主な活動予定場所	宮城県牡鹿郡女川町
プログラム実施の目的	地域のNPOや起業家、地域で活動するプレーヤーとの交流や体験を通じて、東日本大震災の災害復興と地域活性について理解を深める。		
具体的な内容(800字程度)	<p>1事前オンライン研修 ・オリエンテーション(参加学生の顔合わせ、プログラム説明)を行う。 2事前オンライン個別面談(20分~30分程度) 3現地の活動内容 ◆活動先:NPO法人アスヘノキボウ。東日本大震災発災後に発足し、創業支援をはじめ、地域の事業者支援、活動人口創出促進、地域おこし協力隊の募集・受入等の事業を行う。 その他にも高校生や大学生に対して起業家教育の育成や、少額のSeed Money寄付を集め、実践をサポートする活動などを実施している。 ◆2026年度の体験活動内容(予定) 1)東日本大震災の被災状況と復興過程について学ぶ。 ・「還暦以上は口を出さず」若手にまちづくりを託した。 ・民間主導の公民連携のまちづくり。 ・大企業や海外の経営大学院がなぜ東北・女川で学ぶのか。 ・被災地で唯一防潮堤を見える形で作らず、海の景観を残した選択。 2)地域住民との交流 3)現地で活動している起業家のもとで、体験活動。 ・環境負荷の低い動物性タンパク質を提供する水産業の二枚貝種苗センター事業 ・子どもたちの非認知能力を高めるスポーツ教育事業 ・出島離島での鳥づくり ・子どもたちの第三の居場所、教育事業 等 4)体験のとりまとめとふりかえり ◆その他 1)実習内容については事前面談の上、決定する。</p>		
【総額】参加するための費用	55,940円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	お試し移住プログラム参加費(学割):19,800円(滞在拠点シェアハウス・コワーキングスペースの利用が可能になります。) https://onagawa-kikkake.jp/programs/migrate-trial/		
【内訳】参加するための費用(交通費)	女川町内なし。女川町までの交通費: JR東京駅～JR女川駅(新幹線での移動、往復交通費):25,640円		
【内訳】参加するための費用(その他)	食費:各自 懇親会費:3,000円×2回=6,000円/スペインタイルメモリアル体験4,500円		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://asuenokibou.jp/		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		